

# いみずのに拓く

10号

【2016.3.31】

## 第2回 子どもサミット開催



8月9日（日）大島社会福祉センターにおいて、夏野射水市長の出席のもと、市内の小学生男女28名の参加を得て子どもサミットを開催しました。

“男のくせに”や“女のくせに”と言われ区別されることで、一人ひとりの個性や能力が発揮できなくなることが心配されますが、大人自身が無意識のうちに“男らしさ”“女らしさ”といった概念にとらわれて、

子どもたちの考え方に少なからず影響を与えている気がします。

子どもサミットをとおして感じたことは、子どもたちが自分たちなりの視点をしっかりと持って行動しているということです。将来を担う子どもたちのこのような姿に驚きを感じるとともに、大変心強く感じました。

今後も、性別にとらわれることなく助け合い、思いやりの心を育みながら成長して行ってほしいなと思いました。

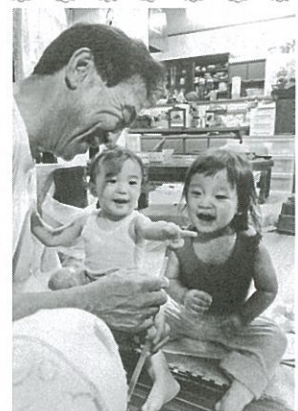
市長との意見交換の後、子どもたちから率直なお願いもあり、和やかな雰囲気の中でサミットが行われました。

(S. K)

### 第4回

## イクメン・イクジイ・イクバア ・カジダン・カジジイ 写真展

最優秀賞  
親父 VS 息子



優秀賞  
じじと食後の楽しみ  
～しゃぼん玉編～



# 活動目録

## 5月23日(金) ..... ● 下地区 お菓子作り教室

新茶の出回るこの時期に、おいしいお茶に合うお菓子作り教室を開催しました。抹茶の餡を抹茶入りの衣で包み、フライパンに茶葉を敷きその上に生地を置き、適度に両面とも焼き色がつけば出来上がる「茶通」という和菓子です。

新茶と玉露を飲み比べ茶通を食しながら、教室を始める前に参加者と共にいった寸劇「心地よい人間関係を作るコミュニケーション」の話題がでました。「自己主張ばかりちゃだめやね。相手の気持ちも考えてあげんと…」という意見がきかれ、思いやりの心こそが男女共同参画社会へ繋がることを感じてもらえたのだと思いました。(S. S)



## 8月21日(金) ..... ● 大島地区 健康講座

8月21日(金)大島コミュニティセンターにおいて、射水市民病院と真美体操の出前講座を開催しました。この講座は、生涯学習講座と射水市男女共同参画推進委員会の共催によるものであり、54名が参加しました。

はじめに、射水市民病院麻野井院長から講演をいただき、朝と夕の15分間深呼吸することでリラックス、脳の活性化、筋肉の強靭化そして認知症の抑制ができることを教わりました。次に、真美体操の増本インストラクターと一緒に深呼吸をしながら足腰を鍛える運動や、椅子に掛けての体操をしました。最後に、男女共同参画の活動について紹介をしました。

参加者は、講演と体操の実技をとおして、若さと元気をもらいました。(K. H)

## 12月6日(日) ..... ● 新湊地区 寿司の握り方教室

12月6日(日)新湊地区で、寿司の握り方教室があり、新湊地域振興会女性部と射水市男女共同参画推進委員会の共催で25名が参加しました。

参加者は、ブリ、イカ、ウナギ、イクラ等のネタを前にやる気満々ながら、握り加減や、すし飯を程よい大きさに握ることに四苦八苦ししました。職人さんのようなキレイな握りにはならず、おにぎりのような形の寿司になってしまったため、途中で米2升を追加し、合計5升の寿司飯を炊くことになりました。ネタの残りで太巻き、ブリのアラで味噌汁を作りました。

一口では食べられない握り寿司を頬張りながら、楽しい時間を過ごしました。

この教室をとおして、料理をすることの楽しさを改めて発見してもらい、男性も女性も家事に参画する足掛かりとなればよいなと思いました。(H. M)



## 1月29日(金) ..... ● 小杉地区 体操教室

今回は、小杉総合体育館での健康体操教室において、啓発活動を開催しました。その後、大家三穂先生の指導の下、歌いながら手足を動かし、じゃんけんしながら計算する等…2つ以上のことを同時に行うという、まさに脳トレ・筋トレ体操です。先生の明るく元気な歌声やテンポのよい進行に楽しくて笑いもあり、あっという間の時間でした。身も心も解放され、いつもとは違い、肩肘張らず気楽にできたように思います。

いくつになっても身体を健康に保ち、男性も女性も共に今後もいきいきと暮らしていければよいなと思いました。(F. C)





大門地区 シンガー英樹コンサート ● ..... 2月17日水

2月17日（水）浅井コミュニティセンターにおいて、シンガー英樹さんによる、心に響く歌と楽しいトークの時間を過ごしてもらいました。

パートナーへの思いの歌、兄弟や親子への思いの歌、それから東日本大震災被災者の短歌を披露され、日々の生活の中での、相手への心遣い・思いやる心・感謝の気持ちを歌で伝えていただきました。夫婦・家族などの愛する人だけではなく、社会生活で関わる人々すべての方がこのような気持ちを持てば、性別役割分担意識やDV、虐待など様々な問題が解決へとつながるのではないかと思います。

これからも各地域でこのような啓発活動を開催し、社会全体が男女共同参画社会を実現できるよう努めていきたいと思ひます。 (Y. M)



鯰のさばき方教室 ● ..... 12月12日土

「ボランティアフェスティバルの寸劇発表の後、鯰のさばき方を教える」という話が舞い込みました。日頃のコミュニティでの茶飲み話が漏れていったのかもしれませんが。

今日のような老人二人暮らしで、どちらかが病気になったら大変だ、という話が仲間内でよく出ます。また、今となつては、食事時間になったら食事が出てくるのを待っている時代ではなく、男も台所に入って見習わなければならないという話にもなります。

長寿会でも、毎年「男の料理教室」を射水市食生活改善推進協議会のご協力で実施していますが、各家庭に帰って実行しているかという、あやしいものです。いずれにせよ、男性は、お酒のつまみに興味をもっており、今回の話に乗って、5～6人に声をかけました。

鯰の刺身作りは、ただ包丁で均等に切れればよいと思っていましたが、簡単にはいきません。包丁を押すのか引くのか結果を見ればすぐ素人と分かります。自分で作ったものは、せっかくの鯰がおいしそうに見えず、やはりプロは違うと思ひました。

おいしい味噌汁とごはんに刺身を付けて、楽しい会食をしました。 (T. T)



富山県男女共同参画推進員地域別研修会 ● ..... 2月13日土

射水市地域振興会連合会会長の宮城澄男氏を招いて、「今、私たちにできること」という題で講演をしていただきました。講師の宮城先生は、長年地域振興に携わり、各地区との関わりや交流も多い方です。今、地方創生や一億総活躍社会が盛んに叫ばれている中で、地域では何ができるのか考える良い機会になりました。

少子高齢化・人口減少や2025年・2040年問題を見据え、今現在私たちにできることは「地域力」を高めることだと思います。現在の社会や生活があるのは、祖父母や両親等が築いてくれたおかげです。次世代への「負」のものを少しでも残さないために、若者も高齢者も女性も男性も一人ひとりが、家庭・地域・職場でそれぞれ生きがいを感じ、能力を発揮できる社会を目指すこと、そして、今自分たちができることを精いっぱい行うことではないかと思ひました。また、そのためには、学び続け、地域の中で自分の役割や居場所を見つけて自分らしくあることが大切だと感じました。

現在そして今後の地域社会の在り方について、大変興味深く、共感しながら講演を聴かせていただきました。 (S. S)



啓発活動

5月 凧まつり

6月 男女共同参画週間

1月 DV防止週間

寸劇



# 研修会報告

## 5月11日 射水市男女共同参画推進委員会 総会・研修会

射水警察署佐藤課長から、「女性と子どもを犯罪被害から守るために」をテーマにご講演をいただきました。講演内容から私たちが安心・安全に暮らせるのも目に見えない警察官のご尽力のおかげだと感じました。(Y. K)



## 11月7日 富山県男女共同参画推進員全体研修会

### イクボス宣言

職場で共に働く部下や仲間のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出す「イクボス」になることを誓います。

- 1 子育てや介護など、両立しながら頑張っている部下や仲間を応援します
- 2 両立のための支援制度を十分に理解し、部下や仲間に育児休業、介護休業などの取得を促します
- 3 会議の短縮や意思決定の迅速化、業務改善などを進めます
- 4 組織の長として求められる責務を果たし、成果を上げます

11月7日(土)、富山サンフォルテにおいて「ファザーリング全国フォーラムinとやま」メインシンポジウムが開かれ、NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏より「イクボスが増えれば社会が変わる」という講演をお聴きしました。

現代は、女性が働いたり男性が家のことをしたりすることに、若い世代での抵抗がなくなってきていますが、上司(経営者～管理職世代)の固定化した価値観・仕事のやり方や男女の役割意識が、ワーク・ライフ・バランスつまり男性の育児休暇取得、女性の活躍推進、長時間労働の是正などの妨げとなっているようです。一方、少子化で労働人口が減り、出産育児での離職や介護での離職をいかに防ぐかは企業の喫緊の課題となっています。このようなことが、イクボスが必要とされる背景にあるのだと思いました。

「男女問わずすべて」の労働者の「育児、介護、その他私生活」などスタッフの生活事情全般への理解を示す「イクボス」の存在が大切になってきました。社員のワーク・ライフ・バランス推進にとどまらず、企業にとっては従業員の満足度、健康度、ロイヤルティ(忠誠心)を上げることで、生産性向上と利益拡大にも繋がっていくことを学びました。(M. M)

## 2月4日 DV相談研修会

人権擁護委員、市役所職員そして男女共同参画推進委員を対象に、DV相談研修会を行いました。研修会では、DV被害者どう向き合うかということや、市役所窓口でDV被害者が相談に訪れたときにはどのような対応をし、関係機関と連携をしていくのかということについて考えさせられました。

今回の研修で気づいたことや考えたことを忘れず、これからの生活や活動につなげていきたいと思います。(O. M)



### 編集後記

「一億総活躍社会」が提唱され、より女性の活躍が期待されるようになりました。そのための環境づくりに、私たちの啓発活動が、家庭や地域の人たちの意識改革に繋がることを願って、これからも活動していきたいと思います。(S. Y)